

農学部 2020 年度 第 2Q 授業実施方針（抄）

1. 実験・実習・演習科目

- 1) 科目担当者は感染防止を念頭においた当該科目の授業計画（様式自由）を教務係に提出し、学部長の許可を得て開講する。
- 2) 実験室の使用については、農学部棟の学生実験室以外の学生実験室も利用可能であるので、それらを念頭に授業計画を立てる。また、午前中の実験なども実施可能かどうか検討する。
- 3) 学科間、コース間での実験室使用調整は関係各位で行う。
- 4) バスによる移動を伴う実習については、別添資料 1 の「授業によるバスの利用」に準拠して実施する。
- 5) 実験・実習・演習の実施方法、特に、感染対策については履修する学生に事前説明を十分に行う。

2. 学外実習（インターンシップ等）

各学科の通常の学外実習（インターンシップ等）参加手続きに加えて、別添資料 2 の感染防止対策に関する誓約書（農学部指定書式）を提出した場合にのみ、参加を認めることとする。

3. 講義科目

（1）生命環境農学科

【1 年生】

遠隔授業のみの実施によって精神的に疲弊している学生が見られるようになったこと、および、アンケート調査の結果 77%の学生が対面講義を望んでいることに鑑みて、専門科目の座学は可能な限り対面講義とし、農学部の遠隔授業システムを利用した複数教室同時開講と授業録画（録画ファイルの Google ドライブ配信）を行う。対面講義に出席できない学生には録画ファイルのオンデマンド配信で対応する。

【2 年生以上】

実験・実習・演習科目の実施を優先させるために、原則としてオンデマンドの Web 講義を行う。

（2）共同獣医学科

専門教育科目は対面授業を原則とし、座学の授業に出席できない学生へは対面授業の録画等のオンデマンド配信で対応する。実験・実習・演習に出席できない学生へは補講等の措置を取る。

別添資料1 授業によるバスの利用について

授業でバスを利用する場合は下記の対策をとること.

- ・発熱等の体調に異常がみられる者は参加を許可しない.
- ・全員マスクをする
- ・乗車中しゃべらない
- ・窓などの解放によって換気に十分留意する
- ・換気等のため、途中で休憩し下車させる（30分を目安とする）
- ・乗下車時の手指アルコール消毒
- ・席を固定する（追跡可能なように）

別添資料 2

鳥取大学農学部長

霜村 典宏 殿

誓約書

私は、学外実習（インターンシップ等）に参加するにあたり、以下の内容全てを遵守することを誓います。

<□に✓を記入>

- 実習開始前14日間において、発熱、咳、咽頭痛、鼻汁、倦怠感、味覚・嗅覚異常などの症状があった場合は、実習に参加することなく農学部教務係に連絡します。
- 実習開始前の14日間に感染のリスクが高いと想定される施設の利用および該当施設でのアルバイトは致しません。また、実習期間中も出入りしません。
- 実習開始前の14日間および実習期間中に100人以上または会場収容率50%以上の規模の学校外の集会やイベント、会食に参加しません。
- 実習開始前の14日間および実習期間中に、同居者に発熱や咳嗽・咽頭痛などの感染兆候が見られた場合は実習に参加することなく教務係に連絡します。
- 実習開始前に感染予防のための学習を十分に行います。
- 実習期間中はマスクを必ず持参し着用します。
- 実習期間中は手洗い、手指消毒、社会的距離の確保等の感染予防策を徹底します。
- 実習期間中は実習先の新型コロナウイルス感染症予防対策等の指示に従います。
- 実習終了後14日間は、健康観察を行います。

日付 令和 年 月 日

学生番号 _____

氏名(自署) _____